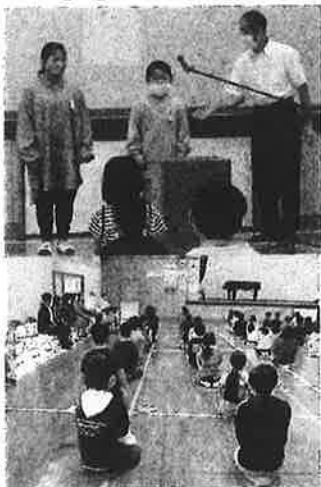


## 笑顔いっぱい 清里っ子

学校便り 第5号

文責 森山 まさのり  
もりやま

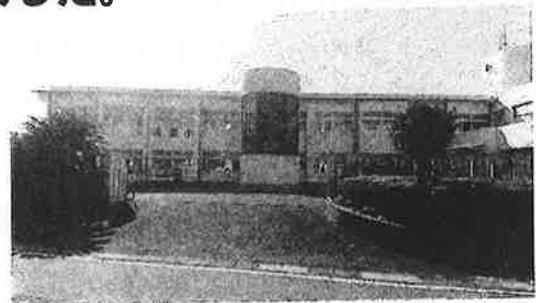
## 令和4年度前期が無事終了し、後期が始まりました。



おかげさまで10月7日(金)に82名の宝子たちが無事に令和4年度前期を終了することができました。新型コロナウイルス感染症が終息しない中で、本校としてできる教育課程を実施しました。体験学習や行事等がコロナ前のようにできない中でしたが、子どもたちと職員で努力して、学び合いを行ってきました。一人ひとりが、それぞれに成長した前期でした。そして、10月11日(火)に桜山小から5年生と2年生の2名の転入生を迎えて、84名にパワーアップした宝子たちの後期が始まりました。子どもたちと「笑顔の登校感謝の下校」、「自分の命は自分で守る人の命はみんなで守る」の合い言葉を確かめ合って、令和4年度の後期が始まりました。子どもたち一人ひとりの自己実現を果たすための学力と人とつながる力を育めるようにチーム清里小で尽力していきます。

## 校舎の外壁改修と屋上防水工事が完了しました。

6月28日(火)から始まった校舎の外壁改修と屋上の防水工事が、10月7日(金)で完了しました。塗り替えられた校舎の色を子どもたちは、メロン色と呼んでいますが、ミントグリーンという色だそうです。改修された校舎は、清里小校区の優しさを醸し出すような、穏やかで澄み渡る雰囲気を私に感じさせてくれます。屋上防水工事のおかげで、雨漏りの心配もしなくて良くなりました。工事をしていただいた三建さんと荒尾市に心から感謝します。



ミントグリーン色になった校舎

## 海陽中挨拶運動



9月13日(火)の早朝、海陽中学校の生徒会が、本校の校門に立って挨拶運動を行ってくれました。本校の卒業生もがんばっている生徒会が、登校して来る子どもたちに爽やかな挨拶をしてくれました。挨拶を通して、小学校と中学校のつながりを深め互いに成長するありがたい取り組みです。今後、定期的に行ってくれるそうです。



**環境出前授業** 9月13日(火)5~6時間めに、4年生が、熊本県産業資源循環協会の方々による環境出前授業を受けました。最初に、協会の方々から不法投棄や野焼きの危険性について実例を挙げての話や、熊本県と荒尾市から出るゴミの量や分別等について目に見える形で講話をしていただきました。講師は、4年生の大久保奏さんのお父さんでした。また、パッカー車へのゴミの投入体験やゴミ問題解決のために自分ができることを考え、一人ひとりが書き込んで完成する「約束の木」ボードを完成させて学習を終えました。この授業で子どもたちが、ゴミ問題への関心を深め、解決のための力を育む一歩になつてほしいと思いました。大久保さん、熊本県産業資源循環協会の方々ありがとうございました。

## 認知症サポーター講座



9月15日(木)に5年生が、認知症サポーター養成講座を受講しました。地域包括支援センターの道野さんと浜口さんに来校していただき、認知症について資料を使ってわかりやすく説明してもらいました。認知症は、誰でもなる可能性があり、家族や周りで暮らす人が、認知症の方の苦しみや不安を感じ取って、「大丈夫ですよ」と受容することがたいせつなことだとわかりました。そして、優しく接することで、症状が改善したり、ゆるやかに進行したりすることも学びました。認知症の方との接し方で、①おどろかせない②急がせない③心を傷つけないの3つの「ない」がたいせつだそうです。私の2人の母も認知症の症状があり、人ごとではありません。誰でも年をとるほど認知症になる可能性が高くなります。これから先、自分の身近な人が認知症になることもあると思います。子どもたちと共に、この学習で学んだことを自分の暮らしの中で実践できるようにしていこうと思いました。

## 3年生が枝豆を収穫しました。 10月12日(水)

3年生が、総合学習で行っている大豆の学習で枝豆を収穫しました。(株)丸美屋の福永さんに6月からご指導いただき、6月24日(金)に播種(種を植えること)した大豆が成長して枝豆になりました。今まで担任の河内先生や子どもたちは、真夏の猛暑の中の水やりや虫の被害を防ぐ等の苦労を重ねてきました。その苦労が実って、実のつきのいい立派な枝豆を収穫することができました。収穫の当日には、福永さんが、大豆の収穫の際に昔使っていた道具の唐箕を持参していただくなど昔の人びとの知恵も一緒に学習す  
**枝豆を収穫して喜ぶ3年生**ることことができました。これからこの枝豆が、大豆に成長して納豆や豆腐になることを学びます。



## 清里小の梨の収穫ができました。



収穫した梨を大きさごとに機械で選別

10月11日(火)に、今年も徳山さんのご厚意とご協力で4年生が5月の摘果から、6月の袋掛け、夏の作業と育ててきた清里小の新高梨の収穫ができました。9月の台風接近では、被害が出るのではないかとたいへん心配しましたが、徳山さんや徳山農園の方々が、子どもたちが袋掛けした梨が落ちないように全部の梨にガムテープを付けて守ってくださいました。おかげでたくさん梨を収穫することができました。

## そして、事故なしキャンペーンを行いました。 10月13日(木)



4年生が収穫した梨を使って、荒尾警察署の交通課の警察官と一緒に、学校の近くの道路にある安全地帯で3年ぶりに、「交通事故を防止する意味の「事故無し」と「梨」を掛け詞にした「事故なしキャンペーン」を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために2年間実施できていなかった本校の総合学習です。子どもたちは、道を通りがかったドライバーになんと声をかけようかと不安なようでしたが、自分たちで考えた言葉かけを何回も練習をして、警察官の協力の下、実施しました。実際にやってみると、「やってよかったです」と喜んでいました。

当日は、午前10時30分から午前11時までの30分間で、用意した梨と交通安全のメッセージカードがなくなるほど活動ができました。梨とメッセージカードを受け取ってくださったドライバーの皆さん、喜んでお礼を言ってくださいり、子どもたちもうれしそうでした。ドライバーの方々の笑顔と子どもたちの笑顔を見ることができて、とてもいい学習ができたと心から思いました。この笑顔が、ずっと続いて、清里小校区から「事故なし」の日が荒尾市内全体に、そして、全国に広まりますように心から願います。